

(別紙)

令和 6 年度にゼロ債務負担行為で発注された工事、繰越工事の熱中症対策補正值の計算方法について

令和 6 年度にゼロ債務負担行為で発注された工事、繰越工事の熱中症対策補正值の計算方法については以下の通りとする。

$$\text{熱中症対策補正值} = \frac{\text{基準日から工期末までの真夏日}}{\text{工事期間}} \times 1.2$$

熱中症対策補正值は少数点以下第 3 位を四捨五入

工事期間

工事の始期から工事の終期までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。

なお、年末年始 6 日間、夏季休暇 3 日間、工場製作工を含む工事で、工場製作のみを実施している期間、工事の全部を中止している期間は含まない。

基準日から工期末までの真夏日

基準日は令和 7 年 4 月 1 日とする。基準日より工期末までの期間のうち、真夏日にあたる日数を算出するものとする。ただし、年末年始 6 日間、夏季休暇 3 日間、工場製作工を含む工事で、工場製作のみを実施している期間、工事の全部を中止している期間の真夏日は算出しない。